



令和 7 年 3 月 7 日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

城山さとのいえ 10 周年イベント 開催

市は、農業の現状を関係団体との協働のもとに広く市民に普及し、理解を深めていただくとともに、「城山さとのいえ」自体の周知を図ることを目的に、城山さとのいえ 10 周年イベントを開催いたします。豊かな自然環境と田畑等がいまだに残る谷保の原風景を感じることが出来る貴重なイベントとなっています。

このことを広く周知したく、ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方、お願いいたします。

記

1. 日時 3 月 16 日(日)午後 10 時～午後 2 時
2. 場所 城山さとのいえ、城山公園
(国立市泉 5-21-20)
3. 備考 詳細は、添付市報をご覧ください。

問い合わせ

国立市 都市整備部
南部地域まちづくり課農業振興係
TEL042-576-2111(内線 346)



国立市
KUNITACHI CITY

文教都市くにたち



くにたち

毎月
5日・20日
発行

審議会等の開催情報は
市HP「イベントカレンダー
(分野:審議会・委員会等)」
をご覧ください。
園 政策経営課政策経営係



人口と世帯	令和7年1月1日現在	対前月比
男	36,793人	26人減
女	39,096人	10人増
計	75,889人	16人減
世帯数	39,293世帯	14世帯減

TEL 042-576-2111(代)
FAX 042-576-0264

〒186-8501 東京都国立市富士見台 2-47-1
編集・発行 国立市役所市長室広報・広聴係
ホームページ <https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/>

各記事には、記事の内容
に関するウェブサイト
等の二次元コードを掲
載しています。

城山さとのいえ 10周年イベント

3月16日(日) 午前10時～午後2時

場所 城山さとのいえ・城山公園

市内に「農」があるって、大切だ。

お米や、旬の野菜をつくる田畑。失いたくない、くにたちの「農」を体感できる城山さとのいえが、創立10周年を迎えました。さまざまな催しを通して、一緒に10周年をお祝いしましょう！

園 南部地域まちづくり課農業振興係

イベントマップ

①～⑧の各イベントの詳細は、2面をご覧ください。



アクセス

- ▶ 電車: JR谷保駅から徒歩16分
- ▶ バス: 国立操車場行「くにたち郷土文化館」バス停から徒歩11分
- ▶ 車: 臨時駐車場(泉5-10-3、下記図参照)あり

城山さとのいえまでの徒歩ルート

駐車場から城山さとのいえまでは緑道を通して来てね！豊かな自然の風景をお楽しみください。(徒歩約5分)



4面にキャンペーン情報あり！



くに Pay

最新情報は市HPから！

園 政策経営課政策経営係



1面のテーマに
関連するSDGs



凡例

内=内容

期=期間

日=日時

場=場所

師=講師

対=対象

定=定員

募=募集人数

資=資格

¥=費用

日3月16日(日)午前10時～午後2時 場城山さとのいえ・城山公園

①じゃがいも植え付け体験

城山さとのいえ前にある、農家さんの畑でじゃがいもの植え付け体験を行います。
※収穫は行いません。

時間 午前10時30分～

対 3歳以上(小学生以下は保護者同伴)

定 30名(申込多数時抽選)

申 2月24日(月)までに、①じゃがいも植え付け体験②体験者の氏名と年齢(付き添いがあればその方の氏名と年齢も)代表者の③住所④電話番号⑤メールアドレスまたはファクス番号を明記のうえ、城山さとのいえ✉satonoie@city.kunitachi.lg.jp ☎505-5190までファクスまたはメール



▲植え付け作業の様子(イメージ)。

②防災施設使い方体験会

災害時に役立つ、防災井戸・防災トイレ・かまどベンチなどの使い方を体験できます。また、防災備蓄品の紹介や非常食の無償配布も行います。

時間 午前11時～

(以後、不定期開催)

師 環境政策課職員、防災安全課職員



▲昨年の様子。

③ピエトロはらぺこおじさんゲーム

ピエトロおじさんの口などにぬいぐるみの野菜を投げ、入れた数に応じてドレッシングのポーションを試供します。

時間 常時開催

共催・協力 (株)ピエトロ



体験イメージ。▶

④さとのいえ・水田レゴブロックお披露目

世界トップレベルの技能を持つレゴ職人の称号「マスター・モデル・ビルダー」を決定するファイナルコンテストで優勝し、世界で30人(日本では4人)しかいないレゴマスターである芸人黒沼誠氏に、さとのいえと前面の水田を、レゴブロックで製作していただきました。

当日は、市長によるお披露目会を予定しています。

時間 午前10時～



▲黒沼 誠氏
(吉本興業様・ろどりげず)。

◀イメージ。

⑤菜の花つみ体験 ⑥フォトスポット



菜の花つみや、さとのいえを背景に写真撮影ができるスポットを設置します。

◀フォトスポット(イメージ)。

⑦プレーパーク(冒険遊び場)

城山公園内の自然を利用した、忍者修行をしてみよう!

時間 常時開催



⑧飲食出店・キッチンカー

▶販売メニュー

豚汁、ポン菓子、調理パン、タコライス、ワッフル

▶飲食出店紹介

くにたちマルシェ会、JA東京みどり国立地区米生産部会、パン工房ともにー、スロースドッグ



▲ポン菓子実演(イメージ)。

※各イベントの開催場所は、1面をご覧ください。 図南部地域まちづくり課農業振興係

国立市観光大使コラム

国立市観光大使 三浦祐太郎さんが語る「城山さとのいえ」



先日いつものようにネットサーフィンをしていると、ふとこんな記事が目に入った。某不動産サイトの「家賃が手ごろで満足度が高い住み続けたい街ランキング」首都圏1位に、なんと我々が「谷保」が選ばれたのだ。

思わず声が出た。ようやく世間が追いついたというか、国立の魅力が少しずつ認知されてきているようで大変感慨深い気持ちになった。

そんな国立の大きな魅力の一つに、暮らしと自然の調和がある(と個人的に思っている)。なかでも南部地域にある城山公園は、コナラやクヌギ

などが小さな森を形づくっている。春にはヒトリシズカ、夏にはキツネノカミソリが生い茂る、まさに自然の宝庫である。

この公園には小さい頃よく友人たちと自転車で遊びに出かけた。暗くなるまで鬼ごっこをしたり、珍しい鳥を探したり、とにかく広い園内を縦横無尽に駆け回っていた記憶がある。

その城山公園内にある「城山さとのいえ」は、今年の3月で開設10周年を迎える農業の情報発信施設だ。野菜の収穫体験会、田植えや稲刈りができる稲作体験会など、子どもから大人までさまざまな農体験をすることができ、貴重な谷保の原風景を味わえる場所となっている。こういった農業イベントを通じて、市内に「農」があることをより身近に感じることができるので、皆さんも是非気軽に足を運んでみて欲しい。

図まちの振興課商工観光係